

B氏

■年齢：27歳

■学歴：大卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：寮

■母親の就業：子どもが大きくなってから再就職した

■家事能力：(家事的に、掃除、洗濯、ご飯の支度)できますね。

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

40歳前後まで

■結婚年齢の理由

ライフプランを考えて。子どもの独立年齢・資金などを考えると。

■理想の婚姻形態

・専業主婦じゃないですけど、まず働いてる間はいいです、2人とも自由な、子どもがない場合。いなければ、別に働いていてもらっていても構わないですけども、子どもができたときに、幼稚園とか大きくなって上がってきたときに、家に帰ったときにカギっ子って嫌だなと思うんです。だからそういうときに、自分もそうだったんですけど、小学校の低学年で帰ってきたときに、まずお母さんに報告するじゃないですか。今日何があった、何があったとか。そういうときに聞いてくれる相手がいないと多分非行に走ると思うんです。(笑)

・子どもができたら家にいてほしい。

・自分が、実家のほうの何か風習というかそんな感じなんです。どこの家も、田舎なんでもの家もお母さんが家にいるっていう。

・(母は)結婚前は働いてました。結婚を機にやめて。一番下の弟が大学生になったんで、それを機に働き始めてますけど。(そういうのがよい)

・専業主婦がいいってわけじゃないです、子どもが帰ってきたときにいてほしいというだけなんです。

・ただ問題となる、今対等な立場でものを言うといったときに、もうそれは(専業主婦も)対等じゃないですか、働くといった意味では。

・労働時間って違いますよね。その上で同じふうやってと言われたときに、家事を、それで実際できるのかっていったらできないと思うんですよね。そうすると何か女の人のほうに負担がいつているみたいな感じにはなるじゃないですか。

■子どもがほしいかどうか

欲しい

■子どもがほしい理由

おれの遺伝子を残したい（笑）。

■理想の子供数

3人欲しい

■理想の子供数 理由

僕も3人きょうだいだから

■子どもの性別の希望

男、女。

■少子化問題について

・どうしても少子化というとな、年金が思い浮かんじやうんですよね。

・普通に子どもがいるのがメリットがあればそこにね、税を軽くしたり、そこに資本投下したりということは、国からすれば正しいんじゃないとは思うけれども、おいおい、だからおれから税金取るのかよってなったら、おい待てと、いうふうになると思うし。



C氏

■年齢：26歳

■学歴：大卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：寮

■母親の就業：ずっと家事・育児をしてきた

■家事能力：あり(結婚して自分が食事を作ってもいいと思ってる)。

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

無し(早いほうがよい。かつては就職3年後)

■結婚年齢の理由

3年ぐらいは働かないと。このままのスタンスで。というのは収入ですよ。経済的に安定できるかどうか3年ぐらいたたないとわからないかなと。だから経済的安定がしてれば、大学卒業してすぐでも結婚したかったんですけども。経済的には安定したんですけど相手がなくなったという。

■理想の婚姻形態

・一つあるのは、僕、ほかの方も含めてですけど、通勤族があるんで、お互いが総合職的な仕事はできないだろうというのが条件としてかかってくるね。その、いい悪いじゃなくて、そもそも無理と。結婚して二つの世帯をつくる気はないので。もう一つあるのは、子どもが小さいときには家にいてほしいっていうのがあるんですけど、僕は、できる限り子どもがいない間は外に出てほしいとは思いますがね。外のかかわり合いは持っていてほしいかなと。

・小さい子どものころと中学校のとき、その思春期を迎えるころっていうのは、多分かなり子どもの的にも不安定で微妙なんで、いや、微妙なんだろうという、はたを見ても自分の経験でも。だからその微妙な変化を、僕が残るか嫁さんが残るかはそれはわからないですけども、だれか1人が見てあげたいなというのはありますよね。

■子どもがほしいかどうか

欲しい

■子どもがほしい理由

・遊びたい。遊ぶっていうのは育てたいっていうのも。  
・遺伝子残したいのと近いのかもしれないんですけども、子どもができて、その子どもの人生見てたら、自分とやっぱりシンクロできると思うんですよ。こう、写して、じゃあ、違う人生見てみたいっていうのはあるのかなと。

## ■子育て観

・僕は親が、親が介入するのは大学に入るまでだと思ってますんで、大学入ってから、例えばアメフトやりたいとか留学したいっていうのは、それは好きにしたらいいけども、金も全部自分でやれっていうことだけです。

・その大学入る前、中学校とか、高校になってくると大分分別ついてくると思うんですけど、中学校の段階で——こっち側が基本的には握ってると思うんですよ。子どもの自我とか個性とかっていうのは、そこまで確立してないと思ってるんで、親がある程度ルール敷くっていう言い方をしますけど、敷いていいと思ってるんで。

・だから、そのときの、だから僕のその経済的なキャパシティの中でこっちが判断すると、すべて。子どもも好きなことをやっていいけど、自分たちも好きなことをやりたいと。だから子どものために全犠牲になる気はないと。

## ■子どもの性別の希望

男です。

## ■育児休業その他

子どもが生まれましたっていても、会社が率先して、じゃあ育児休暇使っていいよっていう雰囲気にもならない、まず。

## ■子育てへの参加意識

・もちろん (ある)。

・嫁さんが、その前提で家に子どもが小さいときはずっといるということであれば、土日とか休みのときで、時間が許せば、完全にかわってやりたいとは思いますがね。1日ぐらい自由な時間をつくりたいとか。

・(子供が生まれたばかりの時、ふだんは奥さんが日常の面倒を見てることを前提として、土日、自分が休みのときに奥さん並みに自分が育児をやるつもりはある。)育児を勉強したい。勉強はしますし。育児っていうか家事をやってあげたい。

・小さいころ、男親と女親っていうのは多分子どもに対して違う見方を提示してあげることでっていうのは、すごい大事なことだと思うんですよ。同じような形をすることははないと思うんですけども。もう一つあるのは、さっきずっと話の中でも、子どもってやっぱり親が一番影響を与えることなんですよ。じゃあ子どもが親になったときに、じゃあ、女の子だった場合、子どもを育てられない女の子にするのか、それとも子どもを育てられる女の子にするのかとかいうのが大きいと思うんですよ。Bさんが言ったように身体的に女の子はおっぱい出るとか、子どもを実際に産むとか、そういうことがあることは前提としてあるわけなんで、それは覆せないですね。そしたら、やっぱり自然のその法則からすると、女性がメインで男は補助になるのかなと。

## ■不妊に対する意識など

・(不妊治療をしたいかどうかは)治療の程度によりますよね。

・だから体外受精とか、その普通の態勢で、できないことに対しての治療はしたいと思う

んですよね。不妊治療とか。何か試験管でつくるっていうのは、僕はそれだったら要らないかなと。

・パートナーがそれをどうしても望むんだったら(不妊治療をしたい)。

#### ■少子化問題について

・個人的なその子どもを持つ、持たないとかいうことを考えると、自分たちの子どもができたときに、同級生っていうか周りが少ないっていうのは、僕はかわいそうだなと思うんですよね。僕なんかベッドタウンで育ったんで、嫌っちゅうほど人がいっぱいいたわけですね。そうするとその中で本当にいい人も会えるし、いろんな、まあ同世代がたくさんいるっていうのは、すごい子どもにとってはいいことだと思うんです。公園で同年代で遊ぶとかいうのもできるでしょう。それがやっぱり少なくなってきたっていうのは、すごい小さい話でいえば、子どもにはかわいそうかなと。

・一つあるのは、その地方公共団体で、さっきのE氏の話で、バラバラの制度があるっていうのが、国全体として地方自治体も国の行政と一つの中に組み込めば不効率ですよね。つまり、隣の市でやればこんだけ出たのに、隣の市でやったらこんだけしか出なかったっていうことは、まずみんなに認知されてないっていうことが一つと、その制度が有効に機能してないわけですね。つまり制度を、地方公共団体がそういうことをつくった背景には、子どもを育ててあげ、安いような福祉の意味合いが強いわけですが、それが全体として国の中でバラバラのときに、こうやって僕らみたいに転勤が多いところになると、その制度を当てにして人生設計は組めないわけなんですよね。

・つまり産んだら幾らもらえるんだってことをわからない。で、じゃあ生まれたら「ああ、こんだけもらえたんだ」では、制度の意味としてはかなり半減してると思うんですよね。国を統一的に一つの制度のまとめることは、みんなそれを知って、産んだらこんだけもらえるんだっていうのは、子どもを産むことに関して言えば非常に人生設計は役立つと。

・もう一つ子どもを産ますことの意味っていうのは、経済的にGDPを〔なんぼ?〕上げるかという計算がいっぱい出てますけども、その意味とやっぱりバラエティ、層を厚くするということは国の責任だと思うんです。それはプライベートだけの話ではないことですね。やっぱりお金とか労働力とか、国のその生産性という意味で少子化というのは問題だと思うし、あとは、生物学的な話をすると、バラエティに富んでる人間がたくさんいたほうがいいわけですね。というのは、例えば野菜1個育てたとしても同じ野菜を育てるといったら、そこで例えばウイルスとか発生したら打撃が受けて。

・リスクもあって、やっぱりたくさん種々の人間がいたほうが、発展ていうんですか、持続的な世界を築き上げられる。

・国の政策として、税金集めるのも国の政策だから、日本国というのを全部あげていこうという中で、広く見たら子どもを持つてる人のほうが国にとってメリットをくれてるというのであれば、国として全体の税金を集めた配分の方法とかを若干国に対してメリット与えてくれる人に優遇措置を与えるというのがいいと思うんですよ。

#### ■その他

・ いろんな話の中で、子ども1人つくるのにこっだけ負担がかかると、子どもに金かかる上に仕事もやめなきゃいけないと。それでもあえて子どもを産んでくれるんだから、みんなで助け合おうというんだったら、そういう説明をちゃんと理屈をつくられるんだったら、その独身者に課税というのもあり得ると思うんです。

D氏

■年齢：27歳

■学歴：院卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：寮

■母親の就業：子どもが大きくなってから再就職した

■家事能力：ある(結婚して自分が食事を作ってもいいと思ってる)。

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

40歳前後まで

■理想の婚姻形態

・幼稚園とか通い始めたら子どもが帰ってくるまでにはどっちかが戻っていてほしいというのがありますね、だから。

・働いてほしいと思います。ずっと専業主婦というのは嫌ですね、どうしても。何らかの形で外の世界と接触を持ってほしいと。

・(結果として妻は非常に限定された時間の働き方をしてほしい)というふうな形になると思います。実際はそうだと。別に僕がパートでもいいんですよ、養ってもらえば(笑)、それは。働かないで食えて、まして働かないで食えていけるんだったら、それは。どちらかといったらきっと僕が終日働いて、奥さんになる人は。家に入ってきてほしいというか、ずっと専業主婦というのは嫌ですね、どうしても。何らかの形で外の世界と接触を持ってほしいと。

・ずっと家にいて楽しいのかなって感じは、やっぱりありますね。

・どうしても自分の親と重ね合わせちゃいますけど。

■子どもがほしいかどうか

欲しい

■子どもがほしい理由

・子どもを持ちたいって明確に言えないですけど、僕は結婚するということは、やっぱり子どもを持つっていうのが一つセットになって考え方として。

・要は、子どもをつくらうと思わなかったら別に結婚しなくてもいいなと思うんです、相手がいたとしても。

・まあ本能的にあるんだとは思うんですね。もしかしたら遺伝子を残したいと思っているのかもしれない。

・(例えば将来、老後の面倒見てもらおうとか)それはでも僕はありますね。老後の面倒とい

うか、やっぱり自分が死ぬときに家族は欲しいっていう。

■子育てへの参加意識

(子供が生まれたばかりの時、ふだんは奥さんが日常の面倒を見てることを前提として、土日、自分が休みのときに奥さん並みに育児をやるつもりはある。)



E氏

■年齢：25歳

■学歴：大卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：寮

■母親の就業：子どもが大きくなってから再就職した

■家事能力

(家事的に、掃除、洗濯、ご飯の支度)できます。(結婚して自分が食事を作ってもいいと思ってる)。洗濯と食事は好き。掃除は、まあ、ちょっと住みづらくなってきてきたなと思って必要に迫られてやる観はありますけど。

■結婚の希望

有

■理想の婚姻形態

- ・僕は働けばいいと思いますね。
- ・自分がイメージする何か自分の家族の生活と違って、結構自分が経験したものが一番やっぱりイメージしやすく、それってやっぱり両親であったりするんで。
- ・てめえがやりたいか、やりたくないかじゃないんですかね。

■婚姻形態の理由など

- ・僕なんかもう、すぐにも(今の会社を)飛び出そうとしてるから、絶対嫁にも働いてほしいなと思いますよね。
- ・いつクビになるかわかんないですから、僕の場合は、みんなと違って。
- ・(飛び出すためには2人で働いていたほうが)やっぱ、断然いいですよ。
- ・多分うちの会社の人って多分、そこ(お金)に対する危機感で多分あんまりないと思うんですよ。それなりに年次が進んでいけば。例えばうちの会社の人で、それなりに年次が進んでいって、年をとってきてる収入を得てる人たちっていうのは、例えば今度息子が私立の高校行きたがっているのに金がなくて公立にしらって怒ったんだよとって話はあんまりしないと思うんですよ。ただ世間一般の水準で考えると、やっぱりそういう話も子どもが2人いて、同時期にお姉ちゃんが大学行って、息子も今度私立の高校へ行くとか言いただしてんだっていったら、多分えらい大変なことになると思うんですけど。いつそんな状況になるかわかんないって僕は思いながら暮らしてるんで、そしたらやっぱり収入が二つあったほうが、子どもに対しても、だって。
- ・どうしてもその私立の高校に行きたい理由が、子どもがあるのに、親が収入が少ないばっかりに行かせてやれないとってことがあったら、逆にそのほうがかわいそうだなと思うし。

・家に子どもがいなくて寂しくて、とかってこともあるのかもしれないけども。僕、あんまりそんなこと考えなくて、それで不良になったら不良になったで、不良は不良なりにいい世界があつて(笑)。

■子どもがほしいかどうか

欲しい

■子どもがほしい理由

遺伝子を残したいというのはあるよね。それは本能でしょう、だって人間の、種の寂しいっていうのがあるかもしれないですよ。

■理想の子供数

2人が限界だと思いますね。

■理想の子供数 理由

・だって3人、大学3年生、1年生、高校3年生で3人私立行った日にゃ、もう火の車だよ(笑)。だって、学費多分稼ぐためにア〇ムとか行かなきゃだめだよ(笑)。学費に送り込まなきゃいけない時期って大体一生、[3月とか4月とか?] そのころじゃん。そのころなったら絶対金なくて、それまでに用意してても絶対足りないもん。そしたら、そのためにアィフルとか行くんだよ。そんな無理だよ、絶対。

・経済的な部分さえなければ、例えば手間がかかるとか、子どもがいっぱいいて何か3カ所から殴りかかってこられるとか4カ所から殴りかかってこられるとか、そんなんだったら別にいいですけど。

■子育て観

子どもにはやりたいことをやらせてあげたいと思います。もう真剣にやって、その世界をきわめろと。

■育児休業その他

・(皆さんの会社には育児休業制度があるでしょうか。)多分うちもあるとは思いますが。・(制度があつて、男性で誰か使ってるのを見たこと、聞いたことありますか。)だれも1回も使ったことない。

■子育てへの参加意識

チャレンジしようとは思いますが。多分、抱いたまま多分近ければ嫁の実家とかうちの实家とか、どうにかしてくれといたり、多分そういうふうに逃げると思います。多分今すぐ結婚して、今すぐ子どもが生まれて、今このような、同じような年齢で、この状況で生まれたら、多分絶対テンパると思うんですよ。

■不妊に対する意識など

・(不妊治療は)パートナーが嫌がらなければやりたい。パートナーが許してくれるんだったらやりたい。

・一応第一目的は自分のDNAを残したいなつてというのがやっぱり強いんで、やっぱりそこは、管でも本当に無理だとなつたら、じゃあ、そのパートナーと2人で愛情を注いでだ

れかを育てたいと思うようになるのかもしれない。

#### ■少子化問題について

・子どもを産むってということに対して、例えば国が主体的に取り組んでいくってことは別に悪いことだとは思わないですし、むしろやってかなきゃいけないと思いますし。今、東京とかこの辺でも、地方自治体とか市町村レベルによって、その子ども1人産むのに、例えば3歳以下だったら医療費がただだとか、1人生まれたら市から幾ら出るだとか、何かそれも隣の市に行ったら全然違ったみたいなの、そういう状態ってあったりとかするんですよ。

・でも、それはそれで取り組み方が違うと言われちゃえばそれまでなのかもしれないですけど、だったら今何か、だれかが言ってたんですけれども、子どもを産むんだったら、子どもを産まれてできることを考えたら、あっちの隣のほうの市にしときゃよかったとか、何かあるらしいんですよ、あまり詳しく知らないんですけど。それを何か国レベルで何か統一というか、ある一定の水準で金が出るとかっていうふうになるんだしたら、もっと楽になるっていう、金銭的に、経済的に楽になるんじゃないかなっていう。

何か会社の周りの人のことを考えると、結構それなりに子どもが、課長補佐になって子どもができて、何か奥さんの入院する病院も何かネイルサロンがついてたり、何か。

ふたを開けて病院の請求書見てみたら、エーッていってびっくりしたとか。かと思えばほとんどぎりぎりまで家にいて、いざってなったときに流れ込んで入って、出すだけ出てすぐに退院して、本当にかからないようにしてやっても、その入院費どうやって払ったらいいんだって悩んでる地元の友達とか見たりすると、えらい違うなど。

金持ってる人は別にマッサージとかネイルケアとかまでも、全員にしろというわけじゃないけども、おれはその地元の連れが、すげえ子どもの出産費で頭を悩ませてるのを見て、むしろそういう給与水準によって違うと思うんですが、そういう人たちに対して、国はちゃんともっと金とかあげてってやればまあ、もっと産みやすい。

・ある程度お金がない人たちに対して本当にもうちちょっとフォローしてあげるっていうことは必要だと思いますけどね。ここってある程度給与水準が同じぐらいの人たちがいて、ある程度恵まれてるほうだと思うんです。その人たちから話を聞けば多分、子どもを実際じゃあ今生まれそうだとなったときに、そこまで多分不安感じないと思うんですよ。月々もらってる額からこんぐらい出していって、こんぐらい計算していって、こんぐらいどこから借りてとかってなれば多分一通り、ああ子ども1人出産して育てるぐらい、あと嫁さん育てるぐらいの可能な収入は得てると思うんですよ。

ただ世の中ってそんな人ばかりじゃなくて、僕の地元の連れなんてほんと雨降ったら仕事なくなって収入ゼロになって、トラック転がして、そんな状態のやつに子どもができた瞬間に、金貸してくれて言いに来て、断れないみたいな。しょうがねえなって言って、まだ返ってきてないみたいな。そういう状態はありますからね。いろんな人がいる中で、いろんな人に対して効果的な補助っていうか、経済的なお金の面でのフォローを。

そういうところに視点を置くことが必要だと思いますね。僕は別にそんな不安は感じないですけど、遊ぶ金を減らせばいいと思うだけだから。ただ生活するのがぎりぎりのやつらからしたら、産みたいけど、産むしかないんだけど、その後どうすればいいのっていう不安を持ってるやつらからしたら、それってもう全然解決できない問題だと思うんですよ。

F氏

■年齢：25歳

■学歴：大卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：実家（親と同居）

■母親の就業：子どもが大きくなってから再就職した

■家事能力：掃除だめだな。（食事は）つくれないんで、しょうがない。

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

無し

■結婚年齢の理由

今ではないです。まだ仕事も始めて3年ぐらいで安定してないっていうのもありますし、これから転職があつたりっていうところで、自分の足場を固めたら結婚をするのかなというところで、いつというのはイメージにはないですね。

■理想の婚姻形態

・収入っていう面から考えて、やっぱり基本的には働いてほしいなっていう。

やっぱり収入はあるにこしたことはないと思いますし、その分いい生活ができるというのは、やっぱり現実としてあるとこなんで、基本的には両方働いて、お金の面からも奥さんには働いてほしいなと思います。

・でもフルタイムで稼いでもらわなくても大丈夫だよと。

■子どもがほしいかどうか

欲しい

■理想の子供数

2人がいいですね。

■子育て観

僕も基本的にはやらせてあげたい

■育児休業その他

男性はまずとってる人、子ども生まれた人結構いますけど、とれないです。（何で男性はとらないんですかね。）とれない。

■子育てへの参加意識

（子供が生まれたばかりの時、ふだんは奥さんが日常の面倒を見てることを前提として、土日、自分が休みのときに奥さん並みに育児をやるつもりはある。）

G氏

■年齢：26歳

■学歴：大卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：寮

■母親の就業：子どもが大きくなってから再就職した

■家事能力：(家事的に、掃除、洗濯、ご飯の支度)できます。(結婚して自分が食事を作ってもいいと思ってる)。

■結婚の希望

いい人がいれば

■理想の結婚年齢

無し

■理想の婚姻形態

・僕絶対、専業主婦はやめてほしい。子どもが1歳2歳というときに外に出るとは思わないですけど、子どもいないのに専業主婦は絶対やめてほしい。

・(理由は) 経験というか、上の人とか経験者からしか聞いたことないんですけど。でも何か家に帰ると、1日ずっと家にいるわけじゃないですか、専業主婦は。テレビ見て、何かして、帰ってきた瞬間にガーッとしゃべるわけじゃないですか、しゃべる相手がいなくて(笑)。家に引きこもること自体あまり健全な生活と僕は思わないんで。

・(母親は) 働いてた。まあ、パートとかですけど。でずっと働いて、もうずうっと、幼稚園のころからずうっと。まあ、職場は幾つかかわってますけど、そういった感じで今も働いています、ずうっと。

・それは親がそうだったからっていう気はしないんですけど、パートナーがずっと家にいるっていうのは。

■自分の育ちの経験

・(母親は) 働いてた。まあ、パートとかですけど。でずっと働いて、もうずうっと、幼稚園のころからずうっと。まあ、職場は幾つかかわってますけど、そういった感じで今も働いています、ずうっと。

・それは親がそうだったからっていう気はしないんですけど、パートナーがずっと家にいるっていうのは。

■子どもがほしい理由

・結婚しなかったら、子どもは多分いない。結婚してないのに子どもをつくるっていうことは多分なくて、それはなくて。いやそれは多分ないっていうか、そこは願いますんでしょうね(笑)

・(子どもが)できちゃったら、そこで、できてそれを産むという決心をしたら、それは結婚するんでしょうね。結婚したからといって子どもはセットではなく。

・仮に結婚したとして、子どもができたら産んで育てるんでしょうけど、能動的ではないですよ。フラットに。

・いや、できたのにおろせとまではね。

#### ■子育て観

(子供のやりたい事は)僕全部もうやらせたいですね。別にお金を残してあげることも多分しないし、ものを残してあげることも子どもにはしないと思うんだけど、教育とか何かそういう身につけるものっていうのは、残してあげたいなって思うから。ただそれって大学入ってから何か物事を学べていうのは、もう人としてでき上がっていると思うから、そういう何かやりたいって子どもながらも思ったものであれば、習い事とかだったらやらせたい。合う、合わないはやってみなきゃわかんないものもあると思うから、それも全部やってみればっていう。

#### ■育児休業制度の取得意欲

(自分が育児休業を使うことは)あり得ないな。使えない。

#### ■育児休業その他

(皆さんの会社には育児休業制度があるでしょうか。)育休はあるよね。

#### ■子育てへの参加意識

・時間が合えば(子育てに参加する)という。

・(子供が生まれたばかりの時、ふだんは奥さんが日常の面倒を見てることを前提として、土日、自分が休みのときに奥さん並みに育児をやるつもりはある。)そのぐらいできるようになりたい。ちょっと義務感はあるかもしれない。嫁さんが?] 仕事をしてて、まあ、仕事は大変だと言いつつも、ねえ、相手は生き物を相手にしてて、そっちのほうが多分ストレスは大きいと思うし、仕事をしてるっていうのも、何かだべっているときもあるわけで、そういうことであれば、まあちょっとは、日ごろ帰って、飲んで帰ってくることもあるから、ちょっと申しわけないから、じゃあ土日ぐらいはやるよと。

・やっぱり抱っことか一緒にお風呂入ったりとか、そういうのはしたいなと思いますけれど。

#### ■不妊に対する意識など

抵抗はやっぱりあるけれど、(不妊治療は程度によっては)そこまではやりたくはない。

だから積極的にはいらない、だから受け身。女性が持ちたいというんだったら。

#### ■少子化問題について

・問題ではない、今は人口的にこうだから、高齢層が多くてっていう状況だから問題かもしれないですけど、もうちょっとしたら低位安定してくるじゃないんですか。そしたら別に人口がふえることが望ましいとは思わないんで、別に。

・どんどん少なくなってくるってことだったら別に、そのまま日本人がいなくなるってこ

とっていうことではないと思うんで。別にいいんじゃないんですか。日本人がいなくなるのは、まあ、何百年先かわからないですけど。その年金制度とかっていうことであれば、それは制度を変えればいいのか、何か技術的なスキルは何かいろいろ考えればいいことであって、子どもが、人口が少なくなるってこと自体にあまり危機感はないです。少子化って日本は少子化だけど、世界的に見たらそんなことないから、あまり何かそんな、どうなんだろう、別に日本人ふやす必要があるのかと言われと、いかがでしょう。だったら何か貧しくなるだけだったら、労働者が欲しいんであれば海外から受け入れればいいし、現に人がたくさんいるわけだから、そんな何が違うのかなと。あまり大きな問題、気はしないですけど。

・誘導することもある程度必要、さっきの話で必要というのと、産まなきゃいけないという教育ではなくて、産みたいんだったら、どうぞ自由に産んでくださいっていう環境づくりは非常に大事なのかなと。

・(子供を産むか産まないかは)別になんか自然に身を任せればいっていいという気はしますけど。

・子どもを産むっていうことは、望んで、まあ望まない方もいるかもしれないけども、望んでやろうとして子どもをつくりたいと思ってできないから不妊治療でお金がかかる。そこを補助するというのはよくわかるけれども。それを、望んでいないところを望ませるように圧力をかけるというのは、また軸が全然違くて、そこはちょっとやり過ぎなんじゃ。

#### ■その他

・(もし自分に子供ができなかったら養子欲しいと思いますか。)子ども欲しくない僕としてはあり得ない(笑)

・その貧しいころ(の日本)にきょうだいがたくさんいた、うちの親とかも親戚とかもすごいきょうだい多いけれども、何か大学行くのは上から何番目ぐらいまでしか行かなかつたりとか、やっぱりある程度の制限があったじゃないですか。それを僕らは何か子どもが生まれたらみんなやっぱり大学に行かせたいとか、やりたいことをさせてあげたいとかって思うから、やっぱりお金がかかるよねってことなんだよね。それって、どこまで引き下げるかっていうのは別に周りの環境じゃなくて親の価値観、高い水準を求めなくて低い水準でよければ、多分4人産んでも5人産んでも何とかできると思うんだけど、今周りがそういう環境じゃないって言うよりは、そういう感覚じゃなくなってる。子どもにいろいろさせてあげたいとか、それはある意味裕福だから、日本全体が、だから。

・この国・・・何か自分の意見が反映されると思ってないからあきらめてますよね。うん、1票じゃ変わらないという。



H氏

■年齢：27歳

■学歴：大卒

■婚姻状態：未婚

■子の有無：無し

■居住形態：寮

■母親の就業：ずっと自営の仕事(農業を含む)や内職を続けてきた

■家事能力

あまりできない。最近掃除するようになった。

■結婚の希望

有

■理想の結婚年齢

30歳前半(33-34)

■理想の婚姻形態

(妻は)小学校中学年ぐらいまでは家において、そこから働き始めるぐらいがいいんじゃないのかな。

■子どもがほしいかどうか

欲しい

■子どもがほしい理由

(家族、欲しいっていうのは)そうですね。いつの日かみたいな感じで思っていましたね。

■理想の子供数

3人

■理想の子供数 理由

結婚して2人ですよ。3人生まれたら1人分繁殖してしまいますもん(笑)。繁殖力で勝ったみたいな(笑)。

■子どもの性別の希望

女、男、女(笑)。女、男で次、男が生まれたときに、女の子、女の子ってずっと思ってたんですけど、男の子だったんで。

■育児休業制度の取得意欲

(自分が育児休業を使うことは)ないですね。使うか使わないかじゃなくて、使えない。

■育児休業その他

(皆さんの会社には育児休業制度があるのでしょうか。)男にも一応名目上はあります。

■子育てへの参加意識

何か母親の子育てと父親の子育ては違うべきだと思っていて。母親がご飯つくったりとか、・・・とかいうのも、別に手伝う必要は特になくて。父親としては何か野球見に連れてい

ってあげたりとかいう、何かいろいろ悩みを聞いてあげたりとか。

■不妊に対する意識など

(不妊治療が)どんな治療か知らないから(笑)。どんな治療するのかわかんないですけど、その治療といわれるとちょっとえって思いますけど、でもやりたいです。

■少子化問題について

・問題でしょう。

・(もし自分に子供ができなかったら養子あり得ないですか。)そうですね。

多分今子どもを産んで育てたりするの、すごい金がかかったりすると思うんですよね。あと、何か子どもを産むために会社をやめなきゃいけない。金がかかるのに、仕事もなくなっちゃうという、何かそういう子どもを産めないような社会的な仕組みになっていると思うので。昔って何か、すごい日本は貧しかったとき、何かお母ちゃんとか7人きょうだいとか8人きょうだいて。何かそういう時代にもうちょっと戻れば、何かもっと活気が出てくるのかなと思うんですよね、日本の社会。

・多分何か、産めよふやせよとかそういう政策をとるのは国として恥ずかしいと思うんですけど、産みやすいとか育てやすいインフラを整えることは、もっともっとできるんじゃないかなと思います。それが国のやるべきことだと思うんですよ。

・(じゃあ、たとえば独身者はいいところに住めないとか、独身者には課税が多いとか、税率高いとかっていうのはやり過ぎ。)だって好きで独身でいるわけじゃないですから(笑)

a 氏

- 年齢：21 歳
- 学歴：大学在学中
- 婚姻状態：未婚
- 子の有無：無し
- 居住形態：実家（兄、父方祖母と同居。両親は転勤で仙台）
- 母親の就業：ずっと家事・育児をしてきた

#### ■結婚の希望

有

#### ■理想の結婚年齢

意外と結婚年齢が何歳であるかということにとらわれなくてもいいかなと。相手あつてのものですから。

#### ■理想の婚姻形態

・社会的な自己実現よりも抽象的なものだけど、家族というものが大切だと思うんですよ。だから、社会活動というのは最低水準の生活ができればいいわけで。就職にしろ何にしろ。とにかく片方は常にいられて、もう片方は常にそれをサポートできる状態であればいいなとは思っています。ただ、現実問題それが可能かどうかというのは、また別な問題なってきました。

#### ■子どもがほしいかどうか

有

#### ■理想の子供数

ちょっと、理想では考えられないし、2人から3人じゃないですかね。

#### ■理想の子供数 理由

さっきも言ったとおり、社会的自己実現を目指さないとして、子どもが望む進路をとらせてあげたいという親心を計算すると、ぎりぎりじゃないですかね？ だって、高いんだもの、日本の教育費。

#### ■育児休業制度の取得意欲

・(育児休業とかやって自分も子どもを育ててみるということいかがでしょうか。)制度的に確立されていれば使えるとは思いますが、ただ日本の場合は、ものすごくそれを暗黙の了解で使わないほうがいいという……

・(何年とか何カ月とか、どれぐらいだったらできそうですか。)結局、企業が保障してくれる中でできる限りは。でも、実際にはそういう保障は多分ないと思います。例えば出世とかそういうことに関していえば、まずないでしょうね。現実的にできるかといったら、多分やめる覚悟でやればということだと思うんです。でも、1年以内だったら、しっかりそれが保障されているのであれば、もしかしたらできると思うんですけど。

## ■育児休業その他

(就活中に)それこそ面接で、結婚したらどうするのとかというの、まだまだ聞かれる。

## ■子育てへの参加意識

(子育て自体はやってもいい?)はい。

## ■少子化問題について

・僕も、短期的に見ればいろいろ問題があるのかもしれないけれど、長期的に見たら、今の少子化問題というのは将来的には別に何も問題ない。

・(社会システムとか、一時的に非常に苦しくなるだろうが、)それを理由に子どもを産めよふやせよというのも解決策になるかといったら、それもまた別の話で。あまりピンとこない問題だなという……。しょうがないというか……

・家族を持たないことイコール子どもを持たないことになってしまえば、結局少子化も進むんじゃないかという感じがするんです。

・できれば子どもには、そういうこと(教育)にお金がかからない方法で育てていけるような環境があればいいなとは思いますが、現実的に今の社会で子どもを育てるとしたら、それ相応の経済力が必要なのかなというのが漠然とある。

・僕は、社会システムの核家族というのがもはや限界に来ているんじゃないかと思うんですよ。結局核家族で孤立したり、自分の子どもは自分で育てたいという要求が強いことが、ある意味では少子化にしても何しても問題になると思うんです。

・安心した教育システムは何によってもたらされるのかというのは、私立教育でも公教育でもいいとは思いますが、結局僕も含めて親になる人たち、社会人になる人たちがその教育システムの中で何が行われていて、その教育が本当に自分の子どもや社会に生きていく子どもたちにとっていいものなのか悪いものなのかを担保する目であったり、それに対して発言する権利があったり、それによって改善されるようなシステムであることが重要だと思うんですね。

・そういう意味では、システムの制度化されている核家族の中で、お父さんとお母さんはいつも笑顔で子どもを見守っているというような理想像は多分近代にでき上がったものなんでしょうけど、すごく新しいものであって、別に普遍的なものではないと思うんで、そういうものにとられる必要はないと思うんですけど。

・ただ、社会における子どもたちがどういう教育を受けていて、その中でそれがどう改善されていくべきなのかということを、今までは大人たちは自分が働くのに忙しいからとかパートで忙しいからという理由で、そこには目を向けなくて、いくらお金がかかるかだけの勘定をしてきたという部分があると思うんですね。それをもっと中に目を向けて、どういう教育が行われていて、それが本当に子どもたちにとっていい教育なのかどうかについてみんなで議論したり、それに対してどうやったら改善できるかというようなシステムが、社会の中に必要なんじゃないかということを考えて、地域教育的なものをやりたいと思っているんですけど。そういうかかわり方がやっぱし……